

挨拶・趣旨説明

アジア産業研究センター代表／専修大学商学部教授

小林 守

皆さま、おはようございます。本日はお忙しいところお運びいただきまして、ありがとうございます。

本日は、「メコン諸国における経済統合の中小企業への影響についての研究－『ASEAN サプライチェーン』の観点から－」という研究プロジェクトの、2016年度の国際シンポジウムでございます。もう既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、このプロジェクトは2014年から続いておりまして、今年が3年目でございます。今回で通算4回目の国際シンポジウムとなります。

毎回、専修大学の研究員による研究報告、そして対象となっておりますベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマーというメコン諸国の研究者の報告に加えまして、周辺諸国がメコン地域に対してどのようなステークホルダーであるかという観点から、メコン地域以外の各国の専門家にもご報告をいただいております。これまで中国の専門家の先生にも来ていただきましたが、本日は周辺諸国のフィリピンから、国立フィリピン大学のジュン・Tカストロ先生、そしてオーストラリアからジェームズクック大学のマシュー・アレン先生です。本学のロジスティック分野のリーダーであります岩尾詠一郎と共に、ご報告をさせていただくというプログラムになっております。

なお、今回もこれまでどおり専修大学の大学院商学研究科および専修大学附設の商学研究所の共催をいただいておりますが、新たに外部からアジア市場経済学会のご後援をいただいております。アジア市場経済学会についてお話をさせていただきますと、1997年のアジア通貨危機の際に、アジア諸国の市場経済化を研究しようということのできた学会でございます。今年で20年目になります。日本国内外からの300名ほどの学会でございますが、東南アジア・中国に幅広い提携ネットワークがありまして、そのお力添えをもちまして、さまざまな専門家の方に来ていただいております。なお、本学の高橋義仁教授が現在会長をつとめております。

それでは、始めさせていただきます。